

第 1729 回例会報告

令和4年2月17日(木)曇り

会長挨拶

『地区大会への思い』

会長 小口直久

いよいよ5月21日～22日に開催される地区大会、後2カ月少しほどとなっております。

小松実行委員長の下、実行委員の皆さんには準備委員会の頃から精力的に動いていただきましてコロナ禍の中、思うように前が見通せず難しい判断を迫られることもあったり、また会議など思うように開催することができず、大変ご苦労かけたと思いますが、何とか大まかな内容は決まってきたとのお話をお聞きし、少しほっとしているところであります。

私も会長としての任期はあと4ヶ月を切っております。自分が残された仕事の1番大きな仕事はこの地区大会を成功に導くことです。この地区大会を成功させることによって、現在の諏訪湖ロータリーのクラブの仲間と達成感や充実感、楽しさや嬉しさを共有できれば何よりも考えます。そしてこの地区大会をステップに諏訪湖ロータリークラブがもう一回り、2回り大きくなってますます素敵クラブになることを確信しております。

実行委員会の皆さんのおかげで、大まかな内容等については決定してきておりますので、これから残された時間を会員全員の思いを一つにして、クラブの全員の協力によって地区大会成功のために取り組んでいこうではありませんか。そして地区大会終了後には皆さんと楽しいお酒を酌み交わしながら、地区大会の思い出話や諏訪湖ロータリーの明るい未来について話せばなあと思っております。

創立以来37年目に迎えるホストとしての地区大会、諏訪湖ロータリークラブの歴史、諏訪湖ロータリークラブの先達方の思い、何より今の我がクラブの皆さんの思いが届く地区大会になるように切に願ってやみません。

残すところ2カ月余り・・・

小松実行委員長の下、皆さん一丸となり頑張っていきましょう！



本日の出席者はZOOM23名、中継会場出席5名の28名でした

第1729回例会

『地区大会開催について』

担当 地区大会実行委員会

本日の例会は、2か月半後に迫った 2021-2022年度 2600地区地区大会について、小松地区大会実行委員長、高林副委員長、長崎幹事からそれぞれの立場からお話をいただきました

大会は平山会員、小笠原委員が作成していただいた 地区大会開催ガイドラインによって開催方法が変化いたします。

流動的な部分が大変多いのですが、今月末からは本格的な活動が始まります。

大変人数の少ないクラブですので、会員全員の協力がなければ実行ができません。

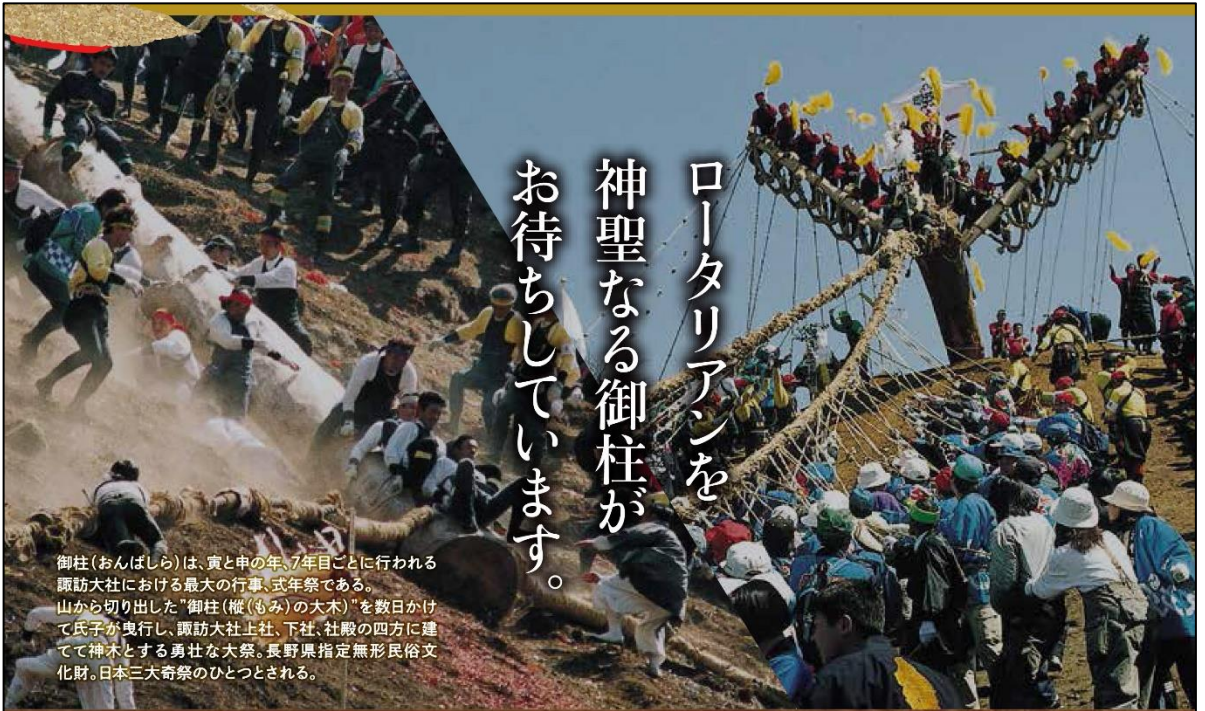
4月からの各部活動にはぜひ積極的にご参加いただくとともに

5月21日(土) 5月22日(日)
の2日間は、ぜひ予定を「地区大会参加」で埋めておいてください



2021-2022 年度 諏訪湖ロータリー活動方針

「温故知新」



ロータリアンを
神聖なる御柱が
お待ちしております。

御柱(おんばしら)は、寅と申の年、7年目ごとに行われる諏訪大社における最大の行事、式年祭である。山から切り出した”御柱(縦(もみ)の大木)”を数日かけて氏子が曳行し、諏訪大社上社、下社、社殿の四方に建てて神木とする勇壮な大祭、長野県指定無形民俗文化財、日本三大奇祭のひとつとされる。

2021-2022年度
国際ロータリー
第2600地区

地区大会 in 諏訪湖

テーマ：女性のエンパワメントを考える

2022年

5.21 [土]

□木会議・ガバナー主催晩餐会

5.22 [日]

□地区大会

長野県岡谷市 カノラホール

ガバナー

GOVERNOR



桑澤 一郎

平素はロータリー活動にご理解いただき、大変感謝しております。新型コロナウイルス感染症の蔓延により、5月21日、22日に他の行事と併せ延期をさせていただきました。コロナ禍により加速したデジタル化によって、例会や会合の多くがオンラインで行われるようになり、今までは遠方からの参加の機会を奪うことがないようになりました。この先もコロナと共存していく中が最も大切で、重要なことは対面とオンラインの切り分けを判断するセンスだと思っています。ロータリーデジタル元年のガバナーとして多くのデジタル化に取り組みしてきましたが、ロータリーのお祭りである地区大会は、何となく対面での開催を構築して参りました。ロータリーの新たな取り組みであるD.I.E.にも通ずるメタ会場の重要テーマである「女性のエンパワメント」も地区大会のテーマとし、講演者には谷口真由美さんをお迎えし、新たな時代のロータリーの姿のヒントをいただきたいと思っております。地区内外のロータリアンと久しぶりの対面による交流を楽しみにしております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

地区大会実行委員長

Executive Committee Chairman



小松 孝弘

コロナウイルスが次々と形を変えて世界中をめぐり、既に12年以上となり、この困難な状況の中、本年度の国際ロータリー第2600地区大会は高野一郎ガバナーのご指導のもと、岡谷市の「カノラホール」にて諏訪湖ロータリークラブがホストを務める2日間のフルスケールで開催する運びとなりました。前半一部はハイブリッド方式で「隔り」を特に対面とオンラインを充実させよう(大会テーマ女性のエンパワメント)を掲げています。特別講演講師の谷口真由美さんは大阪芸術大学客員准教授でありサテライト・コミュニケーションをはじめ各分野で深い見識を持っています。また日本クラブ協会唯一の女性理事でもあります。女性のエンパワメント(女性の能力開発・権限付与)を「生き生きと進ませる」の講演は私たちの目もみわかせていただけるものと確信しております。長野県内で今年度は若狭湾開港、諏訪は御柱祭が諏訪大社上社、下社にて開催され、この時期この諏訪の地は祭り色となります。山地水明の諏訪湖へ是非おいでください。諏訪湖ロータリークラブ一同よりお待ちしております。

ご挨拶

特別講師

Special Lecturer



谷口 真由美さん

法学者
大阪芸術大学客員准教授

演題『ジェンダー平等と女性のエンパワメント』
【内容】 2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」については、昨今では目には見えないけれど日本でもメジャーなものとなりました。SDGsの行動計画のなかにも、「ジェンダー平等の実現と女性・女性の能力強化は、すべての目標とターゲットにおける進展において持続的に重要な貢献をするものである」とされています。この考えを踏まえて、国際社会において、各民間が行うあらゆる活動において、常にジェンダー平等とジェンダーの視点も視野に入れ、実現に向けて「ジェンダー平等」が実現しています。近年では、G7やG20、APEC等の国際会議や多国籍企業において、ジェンダー平等と女性・女性のエンパワメントが主要議題の一つとして取り上げられ、首相級・閣僚級の合意文書においても普及されています。さて、足元の私たちの日々の活動はどうでしょうか？

【経歴】 1975年大阪生まれ。父親が元近畿クラブ一府コーチ、母親が専業主婦であった花園クラブ一府内で育つ。国際人権法、ジェンダー法、憲法などを専門としテレビラジオでも活躍。非営利関係の経験も豊富。大阪大学で日本国憲法について講義も担当。大阪府知事選挙に立候補する伝説的議員となりベストリーダー賞4度受賞。

インターネット上のグループ「全日本おばちゃん党」では代表代行を務め、伝統的パレオにも取り組まれている。日本ラグビーフットボール協会理事、新リーグ法人準備委員、審判委員を務める。2019年をまとめた「おっさん達の人生おぼろげちゃん」が見た日本ラグビー協会失敗の本質」を出版。

- 登録料：会員 6,000円 家族 6,000円
- 参加料：ガバナー主催晩餐会 15,000円
- エクスカージョン：無料

ロータリー2600地区大会実施に関する新型コロナウイルスガイドライン

- 感染警戒レベル3の場合
 - ・参加者数を制限し、1日のみ開催・時間短縮する。
 - ・Web配信を実施する。
- 感染警戒レベル4以上の場合
 - ・Web配信を実施する。

2022年3月末日とし、全クラブに連絡します。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

日	時間	内容
第1日 5月21日	10:00	開会式
	10:30-11:30	地区大会実行委員会
	11:30-12:00	昼食
	12:30	会長・幹事・地区委員【対面】
	12:30-13:30	女性の心づも 総論
	13:30-14:20	全日本ロータリー連合会
	14:30-15:20	木会議
第2日 5月22日	8:00	空席受付付付
	8:00-9:00	女性の心づも
	9:00-11:00	本会議
	11:00-12:30	昼食
	12:30-13:30	女性の心づも 実践
	13:30-14:40	野村アツ子-東山アツ子【対面】
	14:40-15:10	女性会議
15:20-15:50	木会議	
10:00-14:00	エクスカージョン	

